

内山学区コミセンまつり



【内山学区】

■世帯数：4,823 世帯

■人 □：7,037 人

■面 積：0.614k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・内山コミュニティセンターと内山小学校の多目的室を会場に「内山学区コミセンまつり」を2日間にわたって開催。延べ参加者数は約 600 人。
- ・コミュニティセンターで活動している各種同好会の発表や、写真などの個人の趣味の作品展示等を行っている。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示

【アピールポイント】

コミュニティセンターの運営に関するアンケートによって同好会が設立されたものであり、自主的な活動の発表の場を設けることによりコミュニティの啓発・促進に結びつく。

2 きっかけ、背景

コミュニティセンターの運営について、地域住民にアンケートを行ったところ、大正琴や生け花、工芸盆栽、パンフラワー（粘土で作成した造花）、コーラス、詩吟などの同好会を設立して欲しいという意見があった。そこで、学区内・外の講師に依頼し、これらの同好会を設立した。コミセンまつりを、同好会の発表の場とすることで、コミュニティ活動の啓発・促進のきっかけとしている。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
民生委員児童委員、PTA、子ども
会、老人クラブ 計約 100 人

(2) 他団体との協力

学区連絡協議会（各種団体の 12
の幹部を含む）

(3) 運営協力

学区連絡協議会（各種団体の 12
の幹部を含む）

4 実施のスケジュール

7月3日 コミュニティ運営委員会（コミ
センまつりの企画）



7月10日 参加者等の募集・チラシ等の配
付



8月20日 コミュニティセンター、内山小
学校多目的室の準備



8月25日 （午前中）出展作品の設置
（午後～）コミセンまつり開始



8月26日 コミセンまつり終了
（午後 4 時 30 分閉館）

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- 参加者の増加、住民意識の高まりにより多くの人が交流する場となり世帯間の交流が深まっている。

(2) 苦労した点

- 参加者の確保。
- 写真展示では、プロとアマチュアの作品の違いが明らかなため、展示場所を 2 部屋に分けている。

(3) 今後の課題・展望

- 内山コミュニティセンターは、開館して約 3 年となるが、活動を継続するためにも担い手の世代交代を進めることが必要。

